

# ラディーチェ仕上げ 施工の手引き

## 適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【初版】平成17年 8月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

### < 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	16kg/缶	約 80 ~ 106 m <sup>2</sup> /缶
	ジョリパットシーラー JS-410	1液溶剤系 アクリル系シーラー	15kg/缶	約 75 ~ 100 m <sup>2</sup> /缶
	セーフシーラー JS-800	1液水系がけおシーラー	16kg/缶	約 80 ~ 106 m <sup>2</sup> /缶
主材	ジョリパット材 JQ-650 シリーズ (ジョリパット材ノブリーズ JQW-650 シリーズ) 標準色 JQ(W)-650T ( ... 数字 ) 特注色 JQ(W)-650 ( ... 英字、 ... 数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約 5 m <sup>2</sup> /缶
骨材	JF-66	ミックス骨材 Aタイプ	10kg/袋入り	約 17 m <sup>2</sup>
	JF-67	ミックス骨材 Bタイプ	21kg/袋入り	約 14 m <sup>2</sup>

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパット材ノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

セーフシーラー JS-800 は 2kg x 2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20 ~ 25 m<sup>2</sup>/セット)

### < 主な施工道具 >

- ・あやめローラー (ジョリパットローラー J R - 3 0 : 7 インチ)
- ・隅用ローラー (ジョリパットローラー J R - 2 5 )
- ・ J R - 7 7 (糊刷毛)
- ・ J R - 7 5 (スポンジローラー大、小)

### < 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ (平滑) として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

## <ラディーチェ仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1 JS-410 の場合

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

#### 1 " JS-800 の場合

配 合	JS-800	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

配 合	JQ(W)-650シリーズ	20kg
	清 水	3~4割
塗布量	1.0kg/m <sup>2</sup>	
吹圧力	5~7kgf/cm <sup>2</sup>	
施工道具	リシンガン 口径 4~6mm	
	左官業者の場合は、ジョリパットを無希釈で 1.0kg/m <sup>2</sup> となるよう金ゴテにて平滑に塗布 する。(下ごすり)	

JQ(W)650-65-01  
(JQ(W)-650 ラディーチェ)

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	JQ(W)-650シ-ズ	20kg
	JF-66(ミックス骨材A)	4kg
	JF-67(ミックス骨材B)	10kg
	清 水	1.5ℓ
塗 布 量	約5.0kg/m <sup>2</sup>	
	・金ゴテまたはローラーにて上記配合のジョリパットを約5kg/m <sup>2</sup> になるよう配り塗りする。	

4. パターン付け

追いかけ

・あやめローラー(JR-30)に上記配合ジョリパットを十分に含ませる。次にあやめローラーを横に転がし塗布量が均一となるようムラ切りした後、弧を描くようにあやめローラーをひきずるようにパターン付けする。このときパターンが揃わないよう注意する。(図-1,2)

5. 刷毛押さえ

追いかけ

・水に糊刷毛(JR-77)を浸した後、十分に水を切り、壁面に寝かして、パターンに添って軽く押える。このとき水を十分に切っていない場合、水が垂れるため注意する。

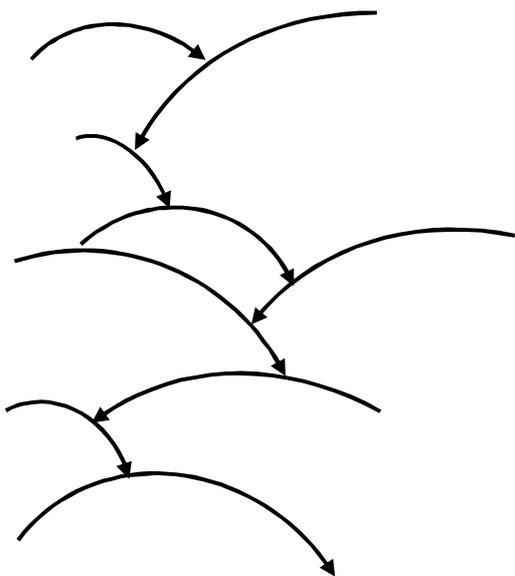
6. スポンジローラー押さえ

追いかけ(5分以内)

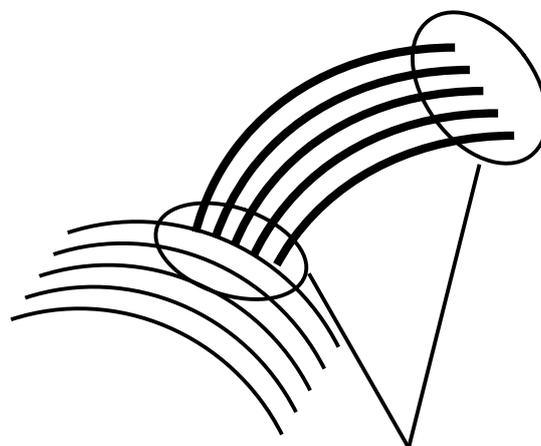
・パターン付けを行なった後、スポンジローラー(JR-75)をパターンにそって軽く転がし水を吸い取る。

< 施工のポイント >

- ・パターンの端が重なるように施工して下さい。



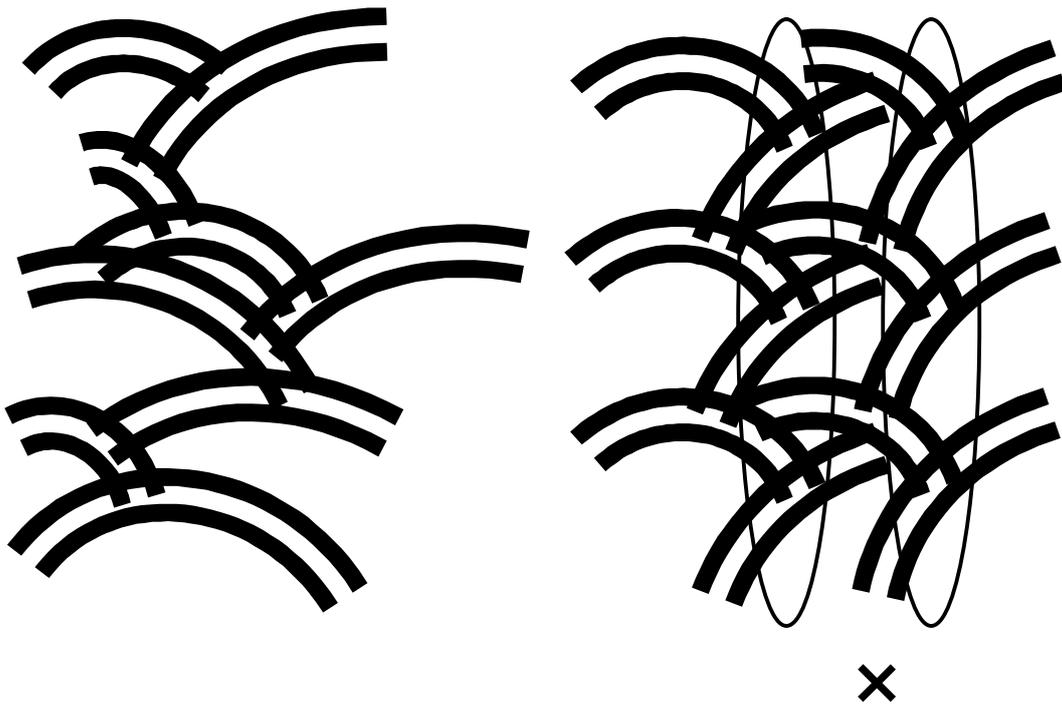
ローラーの動きの一例



この部分のパターンが重なるようにパターン付けを行う。

図 - 1

- ・あやめローラーがあまり回転しないようにして線を出す。  
ローラーを引きずるような感覚でパターンを付ける。
- ・あやめのパターン付けは、大きい弓状模様と小さい弓状模様がたくさん重なり合うように組み合わせる。
- ・あやめローラーは常に上から下方向に転がし、弓状模様をランダムに付ける（矢印の動き）。
- ・パターンが規則正しくならないよう注意する。



×  
パターンの谷が揃わないよう注意する。

図 - 2

## < 施工の注意事項 >

- ・配り塗りはできるだけ均一にする。(パターンを均一にするため)
- ・塗布量が少ないとパターンが出ない場合があります。
- ・あやめローラーJR-30(パターンローラー)にもジョリパットを充分含ませる。
- ・糊刷毛(JR-77)は、力を入れずパターンにそって軽く押さえる(強く押さえると模様が潰れてしまいます。)
- ・糊刷毛は水につけた後、充分に水を切ってください。水が残っている刷毛で押さえると、水がたれ、色が変わる場合があります。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・この仕上げは天然石を使用しているため、見本と色目が異なることがあります。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認を頂いた上で施工を進めてください。
- ・JQ-650を使用される場合、気温5以下、湿度80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の5以下での施工の際は、ジョリパットのフリーズ防止のためJS-410を推奨します。その際シーラーは凍結防止のためJS-410をご使用下さい。  
しかしながら、-6以下、降雨、降雪などの条件下ではJQW-650使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。

JQ(W)650-65-01  
(JQ(W)-650 ラディーチェ)

- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗淨水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上